

令和7年2月廃止

香芝市学校施設の
再編等に関する基本方針

令和5年3月
香芝市教育委員会

令和7年2月廃止

見直しのための背景と趣旨

本市では、小学校、中学校を合計14校保有している。14校の合計延床面積は、約9,5万m²である。香芝市公共施設等総合管理計画の試算では、公共施設のうち3分の1程度しか改修出来ないとされている。また、関屋小学校の敷地は、平成28年3月に土砂災害警戒区域に指定されたこと、志都美小学校、鎌田小学校においては小規模校であることなどが課題となっている。施設利用者の安全を確保すること、災害時の避難場所としての機能を確保すること、今後の人団予測のことなどを鑑みて、これから香芝市にとってよりよい施設管理を行うことはもちろんのこと、1日の大半を学校で過ごす子供たちにとって安全で安心できる教育環境を整えるため、香芝市学校施設等長寿命化計画を見直すための基本方針を作成するものである。

期間

計画期間は、5年を1期とする。

I期（令和5年～令和9年）

II期（令和10年～令和14年）

目標

各中学校区で、小中一貫校や義務教育学校、統廃合などを含めて検討し、全小中学校を適正規模校にすることを目標とする。

※本方針は、令和4年度の基準で作成する。1クラス当たりの児童数、生徒数の基準が変更となった場合や特別支援学級の増設など、基準が変更された場合には本方針を見直すものとする。

令和7年2月廃止

①香芝中学校区（案）

中学校区	学校名	現状及び課題	方向性	具体的措置
香芝中学校	下田小学校	今後の児童数は緩やかに減少していく予測である。	存続。	現状のままとする。
	三和小学校	今後十数年間、児童数はほとんど増減しない予測であるが、教室数が不足する年度がある。	鎌田小学校区の一部区域と統合する。	一部校舎を増築し鎌田小学校区の一部児童を受け入れる体制を整える。
	鎌田小学校	今後、児童数は僅かながら増加する見込みであるが、小規模校から適正規模校に移行する見込みはない。	鎌田小学校区を三和小学校区及び五位堂小学校区に統合する	閉校して、施設の有効利用を図る。

イメージ



令和7年2月廃止

②香芝西中学校区（案）

中学校区	学校名	現状及び課題	方向性	具体的措置
香芝西中学校	二上小学校	今後の児童数は緩やかに減少していく予測である。	存続。	現状のままとする。
	関屋小学校	現在の立地について指摘を受け、必要最小限の改修にとどめている。	現在の敷地から移転する。	高山台グラウンドに新築し、二上小学校区に通学する一部の児童を受け入れる。残った敷地を有効利用する。

イメージ

中学校区	現行（令和4年）	I期（令和5年～令和9年）	II期（令和10年～令和14年）
香芝西中学校	二上小学校	二上小学校	二上小学校
	関屋小学校	関屋小学校	(仮称)香芝西小中学校

令和7年2月廃止

③香芝東中学校区（案）

中学校区	学校名	現状及び課題	方向性	具体的措置
香芝東中学校	五位堂小学校	今後十数年間、児童数は増減しない予測である。	存続。	鎌田小学校区の一部児童を受け入れる。教室数が不足するため改築を含めた施設整備を検討する。
	真美ヶ丘東小学校	今後十数年間、児童数は増減しない予測である。	存続。	現状のままとする。
	真美ヶ丘西小学校	今後十数年間、児童数は増減しない予測である。	存続。	現状のままとする。

イメージ



令和7年2月廃止

④香芝北中学校区（案）

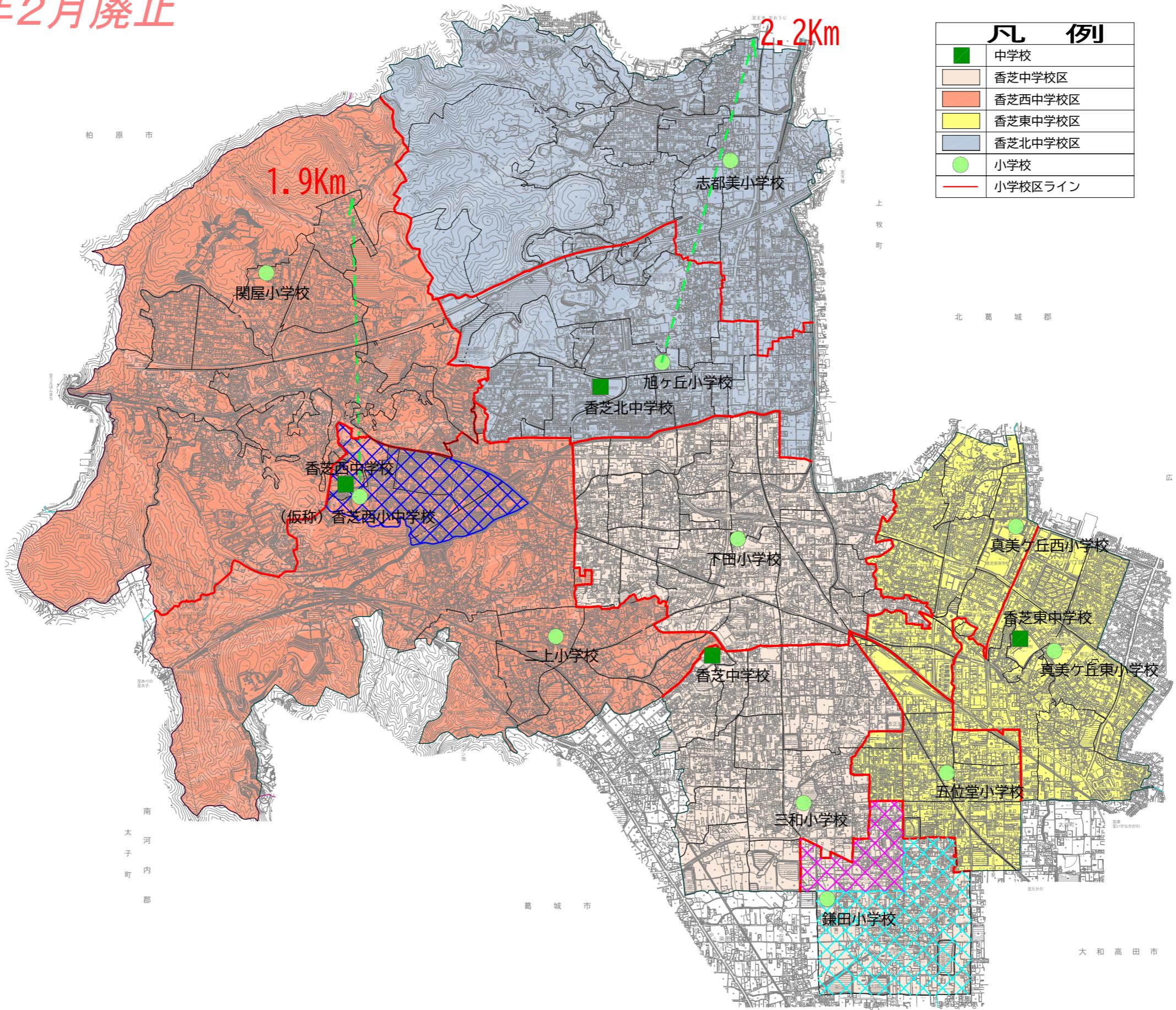
中学校区	学校名	現状及び課題	方向性	具体的措置
香芝北中学校	志都美小学校	今後、児童数は緩やかに減少する予測で、小規模校の状態が続く。	志都美小学校と旭ヶ丘小学校との統合を模索する。	旭ヶ丘小学校校舎への通学に必要な体制を整える。
	旭ヶ丘小学校	今後、児童数は緩やかに減少する予測で、余裕教室が増加する見込みである。		現状のままとする。

イメージ



令和7年2月廃止

香芝市全図



香芝市学校配置図

凡 例

[Green Square]	中学校
[Orange Box]	香芝中学校区
[Red Box]	香芝西中学校区
[Yellow Box]	香芝東中学校区
[Blue Box]	香芝北中学校区
[Green Circle]	小学校
[Red Line]	小学校区ライン

